



新小山市民病院ニュースレター

Shin-oyama City Hospital News letter

Vol.29

1 副院長挨拶

～新型コロナウイルス感染症について思うこと～

新型コロナ肺炎の蔓延は、どのような意味を持つのか？人間の持つ、何事も意味や因果関係を見出そうとする行為を、最近強く感じています。アメリカの女性作家でベトナム戦争やイラク戦争に反対し、リベラル派として著名であったスーザンソンタグの本に「隠喩としての病、エイズとその隠喩」があります。最近のコロナウイルス感染患者に対する批判やSNSでの反応を見ていると、当時のエイズに対する見方となんとなく似ていると思いました。医学や科学は進歩しても、新たな疫病が現れると、何かのメタファーで世間は納得しようとしします。ソンタグは、人々の捉え方として、エイズになることは「恥辱」と「罪悪」の一致であり、「身に覚え」があることがそれに架橋するし、純潔ではないという記号となると表現しました。コロナの感染者は、（道徳的に正しくない行為）夜の歓楽街、旅行や遊び、都会に出かけたのが原因であり、（道徳的に正しい行為 自粛）の人々がそれを批判し、差別化するのは当然であるといった、以前のエイズ患者に向けられた視線をまた見ている思いがします。私自身も（道徳的に正しくない行為？としてマスコミが報道する）感染者を、本当の理由は知りもしないのに、周りの声と同調し正義の行う側のように批判してしまう自分を、愚かで未熟と思うことしばしばです。医療関係者は自身の感染の危険とともに、家族や自分の患者にも感染させる恐れを抱きつつ生活しています。そして一度感染しようものなら、（道徳的に正しい行為をしている）人々からは、リスクのある危険な集団の一部としてレッテルが貼られる（エイズと同じようなメタファー）わけです。差別がないことを祈るのみです。

さて暗い話の後には市民病院での最近のトピックスの一つ、DMAT指定病院の話をしてします。今年4月に栃木県から正式にDMAT指定病院の通知をいただきました。医師3人、看護師2人、事務2人が現在当院で日本DMAT隊員となっており、薬剤師1人、看護師2人、臨床工学士1人が栃木県LDMAT隊員となっています。昨年の台風被害など栃木県、近県でも災害時の医療が身近になっていますが、少しでもお役に立てるように準備中です。ワゴン車を購入し、機材を揃えています。まだ卵からかえりたてのひなのような状態ですので、実力をつけねばなりません。医療機関の皆様にはご迷惑をおかけするかもしれませんが、応援のほどよろしくお願い申し上げます。

令和 2年 6月

新小山市民病院 副院長・脳神経外科部長

宮脇 貴裕



目次:

副院長挨拶	1
新任医師紹介	2
新任医師紹介	3
お知らせ	4

ハイライト

- DMAT指定病院に指定されました。
- 新任医師19名が着任しました。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。
- いつも当院の運営にご協力頂きありがとうございます。紹介・逆紹介のデータを送りいたします。

分からないこと、質問等ございましたら、いつでも、医療連携室もしくは金澤まで、ご一報ください。

日本脳卒中学会 認定「一次脳卒中 センター」に認定

当院脳卒中センターは、この度一般社団法人日本脳卒中学会より、「一次脳卒中センター」(PSC: Primary Stroke Center)に認定されました。

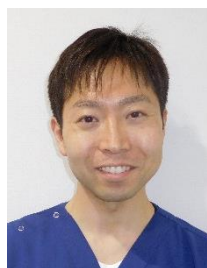
当院では、救急隊、および連携医療機関からの脳神経疾患の診療依頼に対して、24時間365日、専用の脳卒中ホットラインで脳卒中医(神経内科/脳神経外科)が直接対応し、小山市だけでなく、野木町、下野市、栃木市などの周辺地域、さらに結城市、筑西市、古河市などの他県からの救急も広く受け入れています。

また、専門チームを構成し、それぞれの専門知識や技術をいかして連携し、患者さんに最適な急性期治療を行うとともに、回復期や慢性期の治療に至るまでの円滑な移行をサポートしています。私たちは、脳卒中の救急から予防に至るまで、最善の医療を提供できるようこれからも最大限努力していきます。



ドクターの紹介

4・5月に入職された19名の先生方を紹介します。今後、紹介・逆紹介等でお話される機会も増えてくるかと思えます。ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



糖尿病・代謝内科
部長
武井 暁一

令和2年4月から新小山市市民病院 糖尿病・代謝内科に赴任いたしました武井 暁一（たけい あきひと）と申します。島根大学卒業後、自治医科大学附属病院で臨床研修を行い、内分泌代謝科に入局いたしました。

1年間の医局派遣で参りました。近隣の医療機関の皆様と連携しながら糖尿病を中心に診療を行い、視床下部・下垂体・副腎・甲状腺などの内分泌疾患は大学病院と連携しながら幅広く診療をおこなってまいります。お困りの症例がございましたらご紹介いただければ幸いです。

着任したばかりで皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。



耳鼻咽喉科
部長
山内 智彦

令和2年4月より、耳鼻咽喉科に赴任いたしました山内智彦（やまうち たけひこ）です。福島県出身で、平成14年に自治医科大学を卒業後、母校で初期研修を行いました。

平成25年に義務年限を終了した後、福島県立医科大学会津医療センターや自治医科大学附属病院で研鑽を積みました。鼻科学が元々の専門ですが、嚥下障害、音声障害や頭頸部腫瘍と幅広い領域を経験してきました。

これまでの経験を活かし、嚥下改善術や喉頭枠組み手術にも取り組んでいきたいと思っています。

今年度より耳鼻科は二人体制となりました。少しずつ診療体制を充実させていき、地域の患者様や先生方のお役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



呼吸器内科
副部長
中澤 晶子

令和2年4月から呼吸器内科に着任しました中澤 晶子（なかざわ しょうこ）です。茨城県出身で、平成10年に宮崎医科大学を卒業、自治医科大学にレジデントとして入職し、この春に退職するまで呼吸器内科に長年所属しておりました。

近年は大学内および関連病院の呼吸器内科外来、肺機能検査室業務を担当しておりました。新小山市市民病院でも主に外来業務を担当させていただくことになっています。

微力ながら丁寧な診療を心がけて参りますので、呼吸器疾患でお困りの症例がございましたらぜひご紹介ください。どうぞよろしくお願いいたします。



外科
副部長
加賀谷 丈紘

令和2年4月より新小山市民病院 外科に赴任しました加賀谷 丈紘（かがや たけひろ）です。秋田県出身で自治医科大学を平成21年度に卒業し、出身地である秋田県の秋田厚生医療センターで2年の初期研修の後、僻地勤務として町立羽後病院で3年間総合内科医として勤務し、自治医科大学消化器一般移植外科で1年間の後期研修を行いました。その後妻の出身県である長野県での僻地勤務として県立木曽病院で4年間消化器一般外科として勤務し、今年度より自治医科大学消化器一般移植外科に入局させていただきました。

内科医としての勤務経験もあり、違った視点を日常診療に活かせるように心がけつつ日々診療をしています。小山地区の医療に少しでも貢献できるように精進してまいりますので今後とも何卒よろしくお願い致します。



循環器内科
副部長
春成 智彦

令和2年4月1日より、新小山市民病院循環器内科副部長に着任しました春成 智彦（はるなり ともしこ）です。浜松医科大学を卒業後、千葉西総合病院で初期研修を行い、その後は筑波メディカルセンター病院、筑波大学附属病院、東京都立墨東病院、茨城県立中央病院などを経てきました。

当院ではカテーテル治療を含む不整脈治療を主に担当させていただきます。

現在、カテーテル治療の進歩により多くの不整脈が治療可能となってきました。不整脈の中で最も頻度が多い心房細動は脳梗塞の原因として知られていますが、時に重篤な心不全を起こすこともあります。心房細動は発症してから期間が短ければ、カテーテル治療による心房細動停止効果が高いことが知られています。適切な治療により不整脈に合併する疾患の予防につながります。

不整脈のほかに、冠動脈脈や心エコー検査など専門分野にとらわれずに、総合的に心臓疾患の検査と治療をおこなっております。心疾患でお困りの症例がありましたら、御相談頂ければと思います。今後とも宜しくお願いいたします。



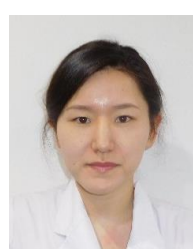
呼吸器内科
医員
齊藤 健也



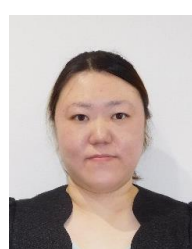
呼吸器内科
医員
矢尾板 慧



腎臓内科
医員
岡 健太郎



神経内科
医員
薄井 美由



消化器内科
医員
五家 里栄



消化器内科
医員
飯田 瑞穂



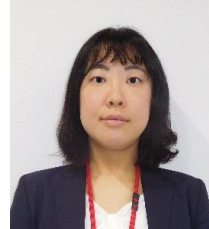
小児科
医員
橋本 佑介



整形外科
医員
西村 貴裕



整形外科
医員
小沼 早希



耳鼻咽喉科
医員
光野 瑛美



麻酔科
医員
藤田 裕壮



形成外科
医員
幡手 亜梨子

患者支援センター

(受付時間 平日 8:30~17:15)

医療連携室：

0285-36-0252

(緊急の患者紹介・転入相談・
その他地域連携に関すること)

予約専用ダイヤル：

0285-36-0254

(もの忘れ外来・内科・神経
内科・循環器内科の受診予約・
胃カメラ・心エコー・腹部エコー
などの検査予約)

医療相談室：

0285-36-0256

(医療相談・退院調整に関するこ
と・MSWに連絡・その他、外来
患者の各種相談に関すること)

FAX：

0285-36-0352

メール：

renkei@hospital.oyama.tochigi.jp

※メールでも受付しております。

地方独立行政法人 新小山市市民病院

〒323-0827

栃木県小山市神鳥谷 2251 番地 1

☎ 0285-36-0200 (代表)

ホームページ

<http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト

<http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

Facebook

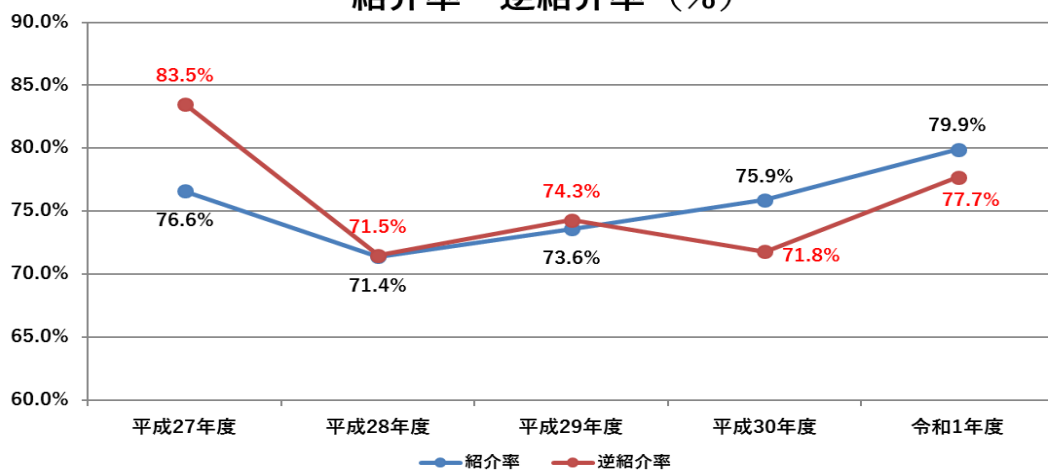
<https://www.facebook.com/shin.oyama.city.hospital>



患者支援センターからのお知らせ



紹介率・逆紹介率 (%)



『ポットラックカンファレンス、地域完結型医療・連携の会』

令和2年4月7日(火)および、令和2年5月21日(木)に開催を予定しておりました『第35回ポットラックカンファレンス』、『第25回地域完結型医療・連携の会』は、現在発生している「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)」の感染拡大防止を鑑み、参加者および関係者の健康・安全を第一に検討した結果、開催を中止いたしました。

今後の予定をお知らせいたします。開催が決定した際には、改めてご案内いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

● 《ポットラックカンファレンス》

回数	日程
第35回	中止 R2年4月7日(火) 19:45~
第36回	中止 R2年6月2日(火) 19:45~
第37回	R2年 8月4日(火) 19:45~
第38回	R2年 10月6日(火) 19:45~
第39回	R2年 12月1日(火) 19:45~
第40回	R3年 2月2日(火) 19:45~

● 《地域完結型医療・連携の会》

回数	日程・担当診療科
第25回	中止 R2年5月21日(木) 19:15~ 外科 心臓血管外科 小児科
第26回	R2年 7月16日(木) 19:15~ 外科 心臓血管外科 小児科
第27回	R2年 9月17日(木) 19:15~ 消化器内科 糖尿病・代謝内科 耳鼻咽喉科
第28回	R2年 11月19日(木) 19:15~ 神経内科 形成外科 眼科
第29回	R3年 1月21日(木) 19:15~ 循環器内科 外科 泌尿器科
第30回	R3年 3月18日(木) 19:15~ 脳神経外科 腎臓内科 消化器内科